

ボランティアだより

# ほのボラ

2018年3月発行

No. 54

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0213

京丹波町須知鍋倉1番地1

TEL : 0771-82-0126 (地域福祉課)

FAX : 0771-82-2206

URL : <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba>

社協キャラクター



ここたん  
cocoTan

## 平成30年度ボランティア登録・ ボランティア保険更新のご案内

平成30年度ボランティアバンク登録・ボランティア保険の新規受け付け及び、更新の時期となりました。

新たにボランティア活動を始められる方や、ボランティア活動を継続される方は、登録手続きをさせていただきようお願いいたします。サークル員の方は、代表者に登録カードの配布をお願いしておりますので提出をお願いいたします。個人活動で登録されている方は、直接社協各支所までお越し下さい。ボランティア保険につきましては、安心して活動をしていただくためにも加入をお勧めいたします。

### ボランティアバンクに登録すると・・・

社協ボランティアセンターから

- ★いつ・どこでどのような活動が求められているかをお知らせします。
- ★活動に関わる講座や研修会などを随時お知らせします。
- ★助成事業を行う団体の紹介及び申請手続きの支援を行います。

その他に

- ★様々なボランティアグループやボランティア活動者とのネットワークが形成され、活動の輪が広がります。
- ★活動機材の整備（要相談）やボランティア保険加入の手続きがサポートされ、安心して活動していただけます。



### ボランティア保険とは・・・

ボランティア活動中、万が一ケガや事故などが発生した場合に幅広く補償され、以下の内容がセットになった保険です。

- ★ボランティア自身のケガを補償する（傷害保険）
- ★第三者への損害を補償する（賠償責任保険）
- ★万が一の死亡事故に対する（死亡見舞金）

《保険料》

1人年額300円

☆ボランティアバンク登録者に限り、200円補助します。

《保険期間》

平成30年4月1日～平成31年3月31日

（途中加入の場合は保険料振込日の翌日から）



# ボランティアインタビュー②9

## くらしの応援ボランティア ひらめき会 (丹波)

介護用品の作成や町内の小学校、中学校、高校に卒業祝いとしてティッシュカバーを作成し、贈られているサークルです。



たばたみさこ  
田畑 美さ子さん

Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「京都専門学校（和洋裁、調理）を卒業してふるさと、三ノ宮小学校に調理師として勤め、その間、公民館活動に入り、青年団にも入会、休みの日は公民館で習い事を教えました。当時は公民館活動も青年団活動も活発で、そのような活動がボランティア活動を始めたきっかけです。」

Q2 ボランティアをしていて良かった事は何ですか？

「ボランティア活動に加わる人々は色々な面で体験もし、お互いに交流が活発にできました。交流のお蔭で色々なことを知りましたし、平成9年には仕事を持ちながら八木のあけぼの学園にもボランティアで行かせていただきました。ボランティアの意義、活動のあり方を勉強できました。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「子育ても終わって私にはこのような出会いがよかったです。地域の人々に助けられ、昔の隣組（助けられたり、助けたり）の意味からボランティアの大切さを知りました。」



しらかしひさこ  
白樫 壽子さん

# ボランティアインタビュー③0

## 朗読ボランティア こだま会 (和知)

視覚障がいのある方などに町広報誌などを朗読し、声のお便りを届けています。2班に分かれ、月1回ずつ活動。



Q1 ボランティアを始めたきっかけは何ですか？

「我が子に本を読んで聞かせたりしていましたが、子どもの手が離れた時、朗読ボランティアがあるのを聞き、参加しました。」

Q2 ボランティアをしていて良かった事は何ですか？

「町からの配布物も忙しいとつい大雑把に目を通してしまいましたが、朗読をしていると隅々まで読む機会が与えられ、知らなかったこともわかる事があります。また、活動をしている仲間との楽しみの時間でもあります。」

Q3 あなたにとってボランティアとは？

「自分もいつか人の世話になるのは目に見えています。今、出来る事を出来る範囲で活動出来ればと楽しく参加させていただいております。」

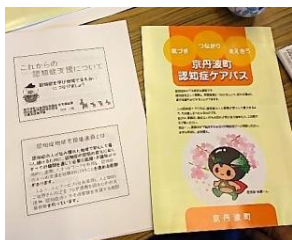
# 白土区ふれあいサロン(丹波)

3月2日(金)に白土区ふれあいサロンが開催されました。白土区では、約一年ぶりにサロンを再開されました。今回のサロンは、「冬場の健康相談」として町保健師による血圧測定や健康相談、健康講話では、自分たちの生活を振り返りながらお話をされ、終始笑いの絶えないサロンとなりました。また、今度は「花見でもしよか」など、次回の話でも盛り上がり、有意義な時間を過ごされました。



# 井脇サロン(瑞穂)

2月5日(月)井脇サロンでは、冬場のオレンジ勉強会(認知症勉強会)を開催されました。認知症についての理解や、間違えられやすい症状、地域での見守り、みんなで出来る支援についてなどを学ばれました。参加者の皆さんは「認知症の方だけでなく地域の方、誰にでも優しくしないといけない」など話をされていました。



オレンジ勉強会は、ふれあい・いきいきサロンや老人クラブなどで開催いたします。認知症について学びを深めませんか?  
お申込み・お問い合わせは、京丹波町社会福祉協議会 在宅福祉課  
「認知症専門相談窓口」(86-1440)まで。

# 北部合同サロン(和知)

2月21日(水)に仏主すこやかセンターで3回目となる北部合同サロンが開催されました。この日はスタッフ合わせて35名の参加がありました。西河内の筋トレ体操を体験し、「仏主では初めてで楽しい運動



やね。好きな曲で体を動かしてもおもしろそう」と好評でした。その後は関西大学社会安全学部の学生による“だるま1000プロジェクト”で友好町の双葉町へだるまの折り紙作りをしました。復興へ少しずつ歩みだしている双葉町を応援する「希望」「がんばって」「京丹波からパワーを送ります」など、すてきなメッセージがたくさん添えられました。

# 平成29年度 傾聴講座



講師にKun ころの宮の心理カウンセラー  
長原洋子氏を迎え、傾聴講座を開催しました。  
今回は“傾聴の基本と認知症の方への対応”を  
中心にご講義いただきました。【聞く】と【聴く】

の違いや、実際に聞き役を交替してのワークなど、実体験をもとに笑いも交えお話しして  
いただき、今後の傾聴活動だけでなく、普段の生活でも活かせる講座となりました。



## アンケートより

- 「聞く」と「聴く」の違いをわかりやすく教えて  
いただき、嬉しかった。認知症の取り組みも  
良かった。今後の生活支援にも活かしていきたい。
- 今まで何気なく話をしていた事が、これで良かった  
のか？と考えさせられました。
- 傾聴は何度学んでも奥が深く、勉強になります。

# 第6回きょうと地域福祉 活動実践交流会 in 長岡京

2月17日(土)、京都府下で地域を支える活  
動をされている団体、活動者の交流・活動発表  
が長岡京記念文化会館で行われました。当日は  
700名を超える来場者があり、乙訓地区の地  
域実践を共有する機会となりました。

また、今回は「地域福祉活動ポスター総選  
挙！」として、府内から29の作品が集まりま  
した。その中で京丹波町社協の「男性調理実習  
会」ポスターが見事、第3位を獲得しました！

## 第3位(^o^)->

京都府内 25 の市町村社協ではサロンを中心  
とした様々な活動が展開されています。こうし  
た活動は交流から見守り、支え合いとなり、地  
域での安心した暮らしにつながっています。



お問い合わせ  
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課  
丹波支所 ☎82-0126 (榎川・友金) 和知支所 ☎84-1833 (湊)